

広報

あか池

1

■発行／赤池町役場〒822-11福岡県田川郡赤池町大字赤池1146番地の1 ☎0947(28)2004 ■編集／総務課文書広報係

★町の人口★ 人口10,180(+5) 男4,829(+6) 女5,351(-1) 世帯合計3,407(+4) 61年11月末日現在()内は前月との比軽です。



迎春

赤池発6時11分。赤池町を出る上りの一番列車です。1年を1日に例えるなら、この列車が元旦号。朝早く夜もいまだ明けきらぬ暗いしじまの中にも、赤池町の人びとが、学校に職場にと働きはじめています。もうすぐ昇る陽の光りに向い、今、躍動する年、昭和62年、の車輪が、ゆっくりとそして力強く動きはじめました。

新年 謹賀



赤池町長 日野喜美男

新年あけましておめでとうございます。
輝かしい昭和六十二年の新春を迎え、町民の皆様御健康を心からお祝い申し上げますと共に、平素からの町政に対する御理解と、ご支援を深く感謝申し

上げます。
昨年七月町長に就任して、私は①町の重要課題の財政立て直し、②公正な行政、③町内全域にわたる鉱害問題、④社会福祉と医療の充実、⑤分譲住宅団地の造成と企
とを、お約束致します。
現在赤池町には緊迫した問題が山積されております。国鉄の第三次廃止路線、上野峡国鉄バス廃止などの、過疎地域の切り捨てとい
う、誠にもって許せない問題。又、
産炭地関係法、地域改善対策法の期限切れの問題など、地域開発のため、赤池町民の生活を守るためには、法の延長を何としてでも要
請しなければなりません。

幸いにも昨年八月には、総合計画審議会より「第二次赤池町総合計画」の答申を受け、町議会で可決され、これからの赤池町の進んで行くべき道標がしめ
されました。
その計画に沿って、正しい目標に向い、町議会、並びに、町民の皆様のお力をお借りして、これからの町行政に誠心誠意取り組んでゆく所存でございます。本年も何卒よろしくお願い致します。



赤池町議会議長 立花 杉夫

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新年を迎えるに当り町議会を代表して町民の皆様につつしんで新年のご挨拶を申し上げます。
地方財政の危機的様相が更に深刻化の一途をたどるなか、財政再建に努力して参りましたが

春のきざしをみいだせないまま赤字財政のうちに六十二年を迎えました。
今年も国の行財政改革による地方財政措置の削減、産炭地域の切
捨て地域改善対策の期限切れ、国鉄の第三次廃止路線問題など、数多くの問題が山積しております。
これら国の政策に何んとしてでも改善を強く働きかけ、住民生活の安定をはかることに最大の努力を
して参りたいと思っております。
この厳しい現状下で昨年同様重点課題である財政の建て直しは非常に困難が予想されます。しかしながらこの難関を乗り越えて赤池町の将来を展望し、活力ある町づくりのため「第二次赤池町総合計画」の実現に向かって執行部局と相協調し赤池町の実情に則した行政運営を図り、明るく住みよい町づくりに努力する所存であります。

このような現状では町民の皆様満足にいく住民福祉の増進は難しいようであり町民の皆様にはご迷惑をおかけすることもあろうかと思いますが、みなさま方の深いご理解と絶大なるご協力をお願い申し上げます。
町民の皆様にとりまして六十二年が幸せな年でありますようお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

第二次赤池町総合計画のうち、
今月は「基本構想の中から、赤池町の目指す将来像について説明をします。

赤池町 第2次 総合計画

この言葉を基本理念としてまちづくりを推進していきます。

まちづくりの主要テーマ

「緑と清流、やきものと文化のまち赤池」の実現を目指し、「対話と協調」「個性」「活力」をキーワードとする三つのテーマを設定しています。

①対話と協調で推進する住みよいまちづくり

まちづくりを進めるのは行政であり、そこに住む住民です。そしてあくまで主体は住民であり、行政はその後押しをする役目を担っています。したがって、住みよいまちをつくるためには、そこに住む人々が中心となつて、住民と住民、住民と行政、さらには行政と行政相互間の十分な理解と協調のもとに、知恵と力を結集して真に公正なまちづくりが進められなければならない。

②個性を生かした誇り高いふるさとづくり

相互の共通理解を得るためには、より多くの人がより多くの対話を重ねる以外になく、誰もが地位、立場等にとらわれず、赤池町の一人の人間として自由に発言することのできる場を確保することが必要であり、これによってはじめて住民主体のまちづくりが可能となります。

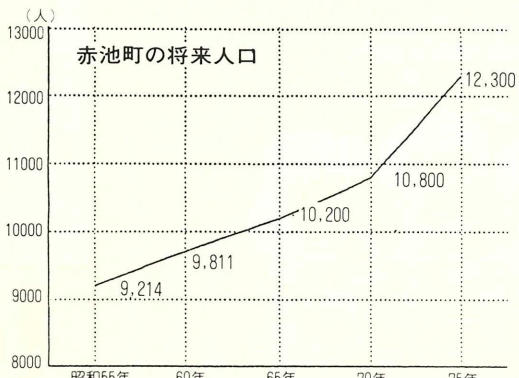
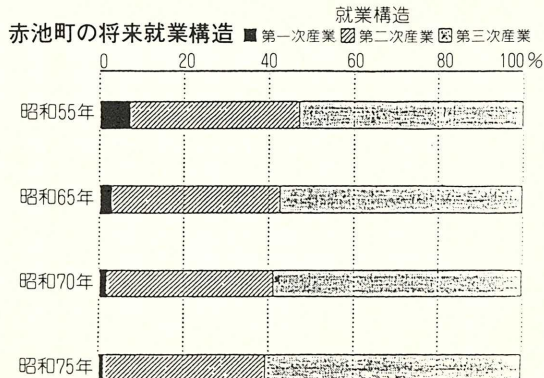
相互の共通理解を得るためには、住民の連帯意識の高まりが必要で

③生き生きと安心して暮せる活力ある経済的基盤づくり

人々が誇りを持って心豊かに生活していくためには、一定の経済的安定は欠かすことはできません。しかし、これまでの努力にもかかわらず、本町の経済的基盤は依然
なん弱なままであります。特に本町財政が硬直化、危機的状況にあるなかで、経済の振興をはかっているためには住民と行政職員の英知を結集し、厳しい態度で公共事業依存型の経済構造から自立発展型の経済構造への転換を推進していかなければなりません。

赤池町の将来フレーム

目標年度の昭和七十五年度の総人口フレームを一万二千三百人に設定しました。また、就業構造は表のとおりとなっています。



まちづくりの基本理念

人の心の豊かさを原点に、受け継いできた資源を生かし、本当に赤池町の住民が心のふるさとと呼べるようなまちを目指し……

『緑と清流、やきものと文化のまち赤池』 — 人の心の豊かさをもとめて —



▶子供たちの未来のために◀

安心しながら

長生きしたい

赤池町人権尊重旬間

十二月四日から十三日まで、赤池町人権旬間でした。
 『家庭のだんらんをとおして、一人ひとりの人権思想を高めよう』のスローガンのもと、四日午前には、町長、収入役、議長、議員、教育委員、保護司、民生委員など総勢約五十人のみなさんが、十五台の車で町内をパレード。また、午後からは町内の各所でチラシやティッシュペーパーを配布して、人権意識の高揚を訴えました。

十三日には、「人権を尊重する町民のつどい」が中央研修所で開かれ、人権旬間に先立ち小中学生から募集した人権作文、ポスターの発表と表彰が行われました。

また、曹洞宗円通院住職の狩野俊猷氏が、「自分の生き方を問う」と題して講演。「健康で、安心しながら、長生きしたい。これが私たち人間のもって生まれた権利です。他人の誤まった考えや、昔からの間違った迷信、しきたりなどに流されず、自分の心を見つめ直し、もっと強い心を持つてほしい。」
 日野町長は数多い「差別」の問題にふれ「いろいろないじめや、



▲すばらしい作品を発表してくれた小・中学生のみなさん



▼街頭啓発



▶「自分の生き方を問う」狩野俊猷氏

さまざまな「差別」の問題を、みんなが今この瞬間だけでなく、年間を通して考えていかななくてはならない」とあいさつしました。
 なお作文、ポスターで表彰されたみなさんは、次のとおりです。
 【作文の部】横山倫子（上野小学校六年）▽香形佳子（市場小学校六年）▽野崎瑞穂（赤池中一年）▽村上美樹（赤池中二年）
 【ポスターの部】小松こずえ（上野小六年）▽安延美智代（上野小六年）▽大久保清美（市場小六年）▽世良めぐみ（赤池中一年）▽上野恭子（赤池中三年）

同和問題啓蒙

シリーズ 9

不可侵・不可

被侵（侵さず）

被侵（侵さず）

「人は、何をしても自由である」ということが「人権」を考える基本なので、自分の自由と「権利」を主張することが大切なところだが、みんなが自分勝手なことをしていると、他の人の自由や権利とぶつかり合い、互いにふみつけ合い、やがては弱い者から順々に「人権」をふみにじられ、ついには「人権」を主張した自分もまた「人権」を奪われてしまうことになります。

つまり、他人の人権が侵害されているうちは、自分の人権も守られない。「全体の人権が守られない限り、個人の人権も守り通せない」ということが明らかになったわけですから、

そこで、みんなで人権を侵害しない約束としてルール（法律）をつくりました。憲法も、民法も、刑法も……もともと人権を守るという視点から生まれたものです。



お父さん、社会の目的のために、人権とは……

憲法第十一條
 国民はすべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる。

人間の社会＝人権の社会
 わたしたち人間がつくっている「社会」は、何のために機能すべきなのだろうか。

⑥ お元気ですか 保健婦です

健康づくり教室終了

昨年8月から5回にわたって行われました「健康づくり教室」が12月2日に終了しました。

この間、延べ110人の方が受講され、3回以上受講された方に田川保健所長から修了書が手渡されました。成人病について、乳がんの自己検診など、盛りだくさんの内容で講習を受けました。

近頃の病気は昔のように結核などの感染症が少なくなり、食塩や食物の過剰摂取、偏食、肥満、運動不足によるぜいたく病が増えています。この様な最近の病気の傾向を知り、日常生活、食生活に気をつけ病気の早期発見、早期治療につとめることは、

生活の第1歩だと考えます。健康づくり教室を受講された皆さん方には、元気に過ごしていただくことを願っています。



新らしい年

をむかえて

新春をむかえ、心よりお慶び申し上げます。

さて昨年は町立病院が開院して二十年にあたる記念すべき年でした。人間でいえば成人式をむかえた。一人前の大人になった節目の年でした。この間、いろいろな出来事がありました。下田川地域の医療機関として微力ながら貢献して来たと思っております。昨今の医療情勢は年々厳しさを増して来ております。昭和六十年十二月末には医療法の改正、昭和六十一年四月一日付で新健保法が施行され、七月一日から許可病床数に対して

赤池町立病院

院長 石尾哲人

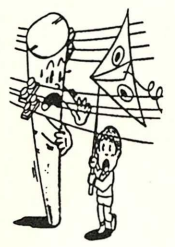


入院患者の規制が行われ、一段と厳しい入院制限をしなければならなくなりました。しかし、職員一同、診療、手術、検査、健康教育（糖尿病教室）検診、予防接種の分野に手をたずさえて合せて地域住民の医療を守っていくために頑張ってきました。

今後、医療環境の整備が急速に実施されていくことですが、医療の近代化に遅れることのないよう病院職員が一体となって、住民のための病院として、なお一層の努力を惜しまぬつもりであります。

ターコ、タコあがれでも電線には気をつけて!!

正月に凧あげ、高く、より高くあげようと大人でもつい夢中になってしまいますね。でも電線にはご注意ください。電線の近くでは凧あげはしない、もし凧が電線にからまっても、自分ではとらないで下さい。感電でもしたら大変です。ではどうするか？赤池町から一番近い九州電力に電話することです。
 ☎44-10600
 お正月は楽しく過ごさなくちゃ。



科学技術の進歩のために人々が貢献する、豊富な物質を生産するために人間が働く、そのことが人間社会の目標なのではないでしょうか。どうもそうではなさそうです。このような貢献も努力も、結局は「幸せな社会」をつくるための手段に過ぎません。わたしたちの社会の真の目標は、だれもが「生まれてきてよかった、生きていてよかった」と言える社会をつくることだと思います。この社会に住む人の人権を十分に保障し拡大することが、わたしたちの社会の目標だといえるでしょう。いま、核兵器が人間の生存を脅かしているとき、改めて科学のあり方を問い、人権を基盤とする社会の建設をめざすべきではないでしょうか。

● あなたは差別されたことはありませんか。
 ● 差別に怒りをもったことはありませんか。

福岡県部落史研究会資料より

今月の解放講座

とき 1月28日（水曜日）午後7時30分から
 ところ 同和对策中央研修所
 自己を見つめ、暮しを高める解放講座へ、みなさんさそいあって参加しましょう。

全国学校給食週間——30日まで

赤池町成人式——3日（中央研修所）10:00～